

待 陵 通 信 第19号

平成 24 年 11 月 7 日
(敬称略)

①計報 平成 24 年 10 月 6 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

13 理甲	金井 英三	平成 24 年 8 月 18 日	横浜市旭区
15 文乙	酒井 福三	平成 24 年 10 月 20 日	吹田市
19 文甲 1	大曾 克弘	平成 24 年 10 月 28 日	箕面市
19 理甲 1	内海 亮	平成 24 年 9 月 25 日	茨木市
21 理 2	田中 義一	平成 24 年 10 月 7 日	神戸市垂水区

②住居・勤務先変更

*住所変更

21 理 3 下里 常弘 〒 659-0051 芦屋市呉川町 4-3
電話 (Fax.共) 0797-20-8684

③午餐会・懇話会

*第 496 回午餐会 24 年 10 月 6 日 (土) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 巽 善信 天理参考館学芸員

テーマ 「ガラスの東西交流ー正倉院白瑠璃碗をめぐって」

出席者 3 理甲 遺津賀美智子・15 理乙 山本暉郎・17 理甲 1 栗野正之・理甲 2 山本昭夫
18 理甲 1 遺新家和己・19 理甲 3 三浦昭二郎・20 文乙 池口金太郎・理 2 鶴岡誠
21 文甲 1 真銅孝三・文甲 2 露口佳彦・理 2 武田晃世・理 3 後藤業明・
21 理 4 川島康生・22 文甲 2 井本憲伺・理 2 松浦實・理 3 井上達明・
22 理 4 大路清嗣・事務局 阪田訓子 以上 18 名

④各地寮歌祭

*第 2 回 全国旧制高校寮歌祭 24 年 10 月 8 日 (月・体育の日) 12 時～

於 ベルサール新宿

出席者 19 文甲 2 高間宏治・21 文甲 1 徳久俊彦・文甲 2 田中昂・22 文乙 亀田一彦
以上 4 名

全体の参加者は 350 名で、昨年と殆ど変わらなかったが、浪高は、前年の参加 9 名から
今年は 4 名に激減。

⑤支部だより

*関東浪高会 9 月午餐会 24 年 9 月 10 日 (月) 正午～14 時

於 新橋 かに道楽

出席者 12 文乙 平井勉郎・13 理甲 蜂谷謙一・15 理乙 岸保芳郎・16 理 1 清岡繁夫・
19 理甲 2 武田聡光・理甲 4 藤田宏・20 文乙 阪本亮二・21 文甲 1 岡本豊・同夫人
21 文甲 1 徳久俊彦・文甲 2 田中昂・平松齊・22 文乙 亀田一彦 以上 13 名

今回は特に徳久俊彦君から、本人の所属するキリスト教会・YMCA の東日本大震災被災地域支援ボランティア活動に、本人が参加した状況について口演があり、プロジェクトによる現場の映写を加え、臨場感のある説明であった。

⑥同期同級交歓

*21 会 (21 回同期会) 旅行会 24 年 10 月 22 日 (月) ～24 日 (水)

21 日 (月) 東京組：羽田→小松空港、大阪組：大阪駅→金沢駅

小松空港より貸し切りバス→金沢駅で大阪組と合流→大名茶屋 (昼食)→千里浜なぎさ
ドライヴウェイ→気比大社→和倉温泉・多田屋泊

22 日 (火) 和倉→白米の千枚田→キリコ会館→輪島朝市→大本山総持寺祖院 (降雨の
ため車中より遙拝)→シーサイドヴィラ渤海 (昼食)→能登金剛→和倉・多田屋泊

23 日 (水) 和倉→雨の宮古墳群→コスモアイル羽咋 (宇宙博物館)→ここちや (昼食)
→近江町市場→金沢駅 (大阪組離団)→小松空港より羽田 (東京組)

参加者 文甲 1 額川勉二・章子・黒田登代・真銅孝三・邦子・文甲 2 筏喜久子・
田中昂・良子・渡辺祐吉・節・文乙 村田正孝・貞子・理 1 生島幹三・マリ子
藤岡香子・山田茂樹・宣子・山本稔・理 2 栗本浩・佐藤孝子・島隆夫・
東野太美子・理 3 金多潔・由紀子・後藤業明・千代子・竹原登・理 4 川島康生・
操子・中原充雄・西村順三 以上会員 16 名 夫人 16 名 計 32 名

*21 回理一クラス会 24 年 10 月 11 日 (木) 17 時～

於 梅田 関西文化サロン

出席者 生田利彦・生島幹三・額川勉二・神山達生・茅野健・北野泰・小谷剛造・
近藤雅臣・佐藤優・高折益彦・立石隆造・仲尾次政浩・山田茂樹・頼富達雄
以上 14 名

⑦運動部・同好会だより

*野球部OB会 24年10月6日(土) 11時30分～13時30分

於 新阪急ホテル地階「モンスレー」

出席者 12 文甲大曲直介・17 理甲 1 北畠国秋・17 理乙渡会信夫・20 文乙鈴木宏・
22 文甲 1 澤田一彦 以上 5 名

*待兼山俳句会 (第 517 回) 24 年 10 月 15 日 (月) 於 大阪倶楽部 会議室

出席者 林 直入・長山あや・片岡京子・鈴木輝子・鈴木敏夫・瀬戸幹三・鶴岡言成・
寺岡 翠・西村浩風・根来眞知子・東中 乱・三宅洛艸・山戸暁子

以上 13 名

投句者 井上浩一郎・上田元彦・阪本ゆたか・田中嵐耕・中村和江・平井瑛三

以上 6 名

合計 19 名

兼題 啄木鳥・菊人形 (直入) 冷まじ・金柑 (あや)

卓上に芒・萩・紫式部・杜鵑草・露草・赤のまま・菊・木の实

選者吟 啄木鳥の音今日もよき山日和 直入

武者華麗姫の優雅に菊人形

五票差で当選と言ふすさまじき

菊人形菊の衰へ見せまじく

あや

菊人形菊は呼吸をしつづける

影といふ冷まじきもの曳きて歩す

林 直入特選

茸狩持ち来し籠の大きすぎ

暁子

突つきやめ穴覗きをる小げらかな

幹三

道標に熊注意とは冷まじや

言成

冷まじや噴気こもごも地獄谷

洛艸

号泣の瞳のまばたかず菊人形

浩風

冷まじや喧嘩にも似て浜言葉

浩風

かくかくと菊人形の回りをり

幹三

長山あや特選

菊人形どこか遠くを見てをりぬ

浩一郎

啄木鳥に応ふる黙や虚子の塔

瑛三

酒となる名水喉に沁みるる秋

乱

敵味方同じ菊師の手にかかる

浩風

萩刈ればかかへぬし風こぼれ落つ

眞知子

菊日和妻とデイトの観覧車

乱

★ご案内

*大阪大学総合学術博物館創立 10 周年記念 第 15 回企画展

ものづくり 上方“酒”ばなし

—先駆・革新の系譜と大阪高工醸造科—

会場 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

期間 24 年 10 月 27 日 (土) ～ 25 年 1 月 10 日 (土) 10 時半～ 17 時

日曜・祝日・年末年始 (12 月 29 日～ 1 月 3 日) は休館 入場無料

*船場大阪を語る会 第 165 回例会

日時 24 年 12 月 15 日 (土) 午後 1 時 30 分～ 4 時

会場 さいかくホール (府庁新別館北館 1 階)

アクセス 地下鉄 (谷町線・中央線)「谷町 4 丁目駅」下車、①出口を出て、そのまま
地下道を北へ 100 m、突き当たりを右へ、奥のエレベーターをご利用下さい。

講師 大塚 滋 氏

演題 「味と香りの上方学」

会費 1 0 0 0 円 (入会金、年会費不要)

日本の最も豊かな食文化圏である上方の味覚の特徴、大阪人ことに船場人と京都人の
味つけ、食器、食空間、季節や行事との結びつきなどの違い、料理の言葉などについ
てお話を伺います。

氏は、1928 年、新潟県長岡市生まれ、小学校以来大阪育ち、大阪大学理学部をご卒
業、理博で、大阪府立大、東洋食品短大、米国ウースター実験生物学研究所、武庫川
女子大などの教授を経て生化学・食物科学をご専攻、食を文化的側面からも研究され
て来ました。藤沢恒夫創刊の権威ある「文学雑誌」同人で、日本文芸家協会会員です。

主著として『食の文化史』(中公新書)、『味の文化史』(朝日新聞社刊)、『たべもの
事始』(東書選書 東京書籍刊)、『たべもの文明考』(朝日選書)、『パンと麺と日本人』
(集英社刊)、『ああ星条旗』(朝日新聞社刊、大宅壮一ノンフィクション賞候補)

『野の牝鶏』(編集工房ノア刊、神戸ナビル文学賞) などがあります。

連絡先 船場大阪を語る会事務局 三島佑一 (22 理 2) 方

〒 550-0014 大阪市西区北堀江 4-12-10-609 電話・Fax .06-6532-3094

共催 大阪府 (文化課)